

小学校 国語 指導例

○課題が見られた問題 5四(2)

○出題のねらい

情景描写から想像される登場人物の気持ちと、場面の移り変わりとともに変化した登場人物の気持ちを読み取り、自分の考えをまとめることができるかを判断する問題である。

出題の意図は、令和3年度及び令和4年度の分析において、文章全体を見通して、行動や会話などの複数の叙述から登場人物の状況や気持ちの変化について読み取ることに課題が見られたため、場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の行動や気持ちについて読み取る問題とした。

また、考えをまとめる際には、4つの条件に合わせて表現することも重視した。

○分析結果と課題

分析の結果、字数制限や「二文で書く」という形式に関する条件を満たしていないものが多かった。形式に関する条件を満たしているもののうち、情景の読み取りが不十分な解答や、登場人物の気持ちの変化のみを指摘する解答が多かった。

課題として、行動や会話などの複数の叙述に関連付けて登場人物の気持ちを捉える力や、自分の考えを表現する力が不足していることが考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、情景から想像される登場人物の気持ちを読み取る学習を設定するとともに、変化する登場人物の気持ちも想像できるよう指導を工夫することが大切である。さらに、読み取った登場人物の気持ちやその変化を説明したり、伝え合ったりする言語活動の充実を図ることが求められる。

指導例

叙述から登場人物の気持ちを想像する力を高める指導

～单元名『大造じいさんとガン』を読んでおすすめするところを工夫して伝えよう(第5学年)～

【指導の流れ】

- 1 情景描写の一文を取り除いたものや、他の表現に変えたものと比べることで、情景描写の効果に気付かせ、登場人物の気持ちを想像させる。

学習活動 情景描写の一文に着目して大造じいさんの気持ちを想像する。



「大造じいさんとガン」の中でおすすめしたい一文はどれですか。



「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」の一文です。



その一文は、景色を表しているだけだと思うけど、どうしてその一文にしたのかが気になります。

では、その一文について考えてみましょう。その一文を取り除いたものと比べてみましょう。また、「真っ赤に燃えて」の部分を、「赤く染まって」に言い換えたときと比べてみましょう。



その一文があることで、これから「戦闘」に向かおうとする大造じいさんの気持ちが想像できます。

「赤く染まって」ではなく、「真っ赤に燃えて」だからこそ、「ぜひとも手に入れたい」という強い気持ちが想像できます。



情景から登場人物の気持ちも想像できておもしろいと思います。他にも情景が書かれているところはあるのでしょうか。他の情景の文も読んで、どんな気持ちか想像してみたいです。

ポイント

情景描写の一文と、それを取り除いた一文や他の言葉に言い換えた一文とを比べて読むことで、情景描写の効果について考えさせる。

2 情景描写に着目し、時系列に並べて検討することで登場人物の気持ちの変化を想像させる。

学習活動

情景描写の一文に着目して大造じいさんの気持ちの変化を想像する。



一年ごとに、情景が書かれている一文を見つけました。



それぞれから大造じいさんの気持ちを想像してみましょう。

年が明けた春	その翌年	その翌年	初めの年
・「清らか」という言葉から、落ち着いた感じがさわやかな感じがする。 ・「スモモの花」「雪」という言葉から、心もきれいな感じがする。	らんまんとさいいたスモモの花が、その羽にふれて、雪のように清らかに、はらはらと散りました。	・「真つ赤」「燃えて」という言葉から、ぜひとも手に入れたい強い気持ちがある。 ・「戦闘」という言葉から、戦う気持ちが強い。 ・かんたんに手に入れられるというよううはない。	秋の日は、美しくかがやいていました。 ・「たかが鳥のことだ」という言葉から、たくさんガンを手に入れられると思いい、喜んでいいる。 ・かがやいて見えるほど、期待している。 ・自信に満ちている。
	東の空が真つ赤に燃えて、朝が来しました。	・暗いところに差す光のように、希望を感じている。 ・会心のえみをもらすほど期待している。 ・「すがすがしい」という言葉から、さっぱりしている。	あかつきの光が、小屋の中にすがすがしく流れこんできました。



初めの年やその翌年は、自分の作戦に自信があり、ガンに対しても「たかが鳥」と余裕も感じられます。でも、その翌年は、「なんとしてでも手に入れたい」と、あまり余裕がなくなってきたようにも感じられます。

情景の一文を出てきた順番に並べ、比べて考えると、大造じいさんの気持ちの変化も分かります。



ポイント

情景描写の一文を時系列に並べて提示し、比べて読ませることで、登場人物の気持ちの変化を想像させる。

3 おすすめするところについて根拠と理由を区別して図にまとめることで、自分の考えを形成させる。

学習活動 おすすめするところを工夫して伝えるために、根拠と理由を基に自分の考えをまとめる。



「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」など、大造じいさんの気持ちを想像できる情景の一文が四つもあることをおすすめしたいです。

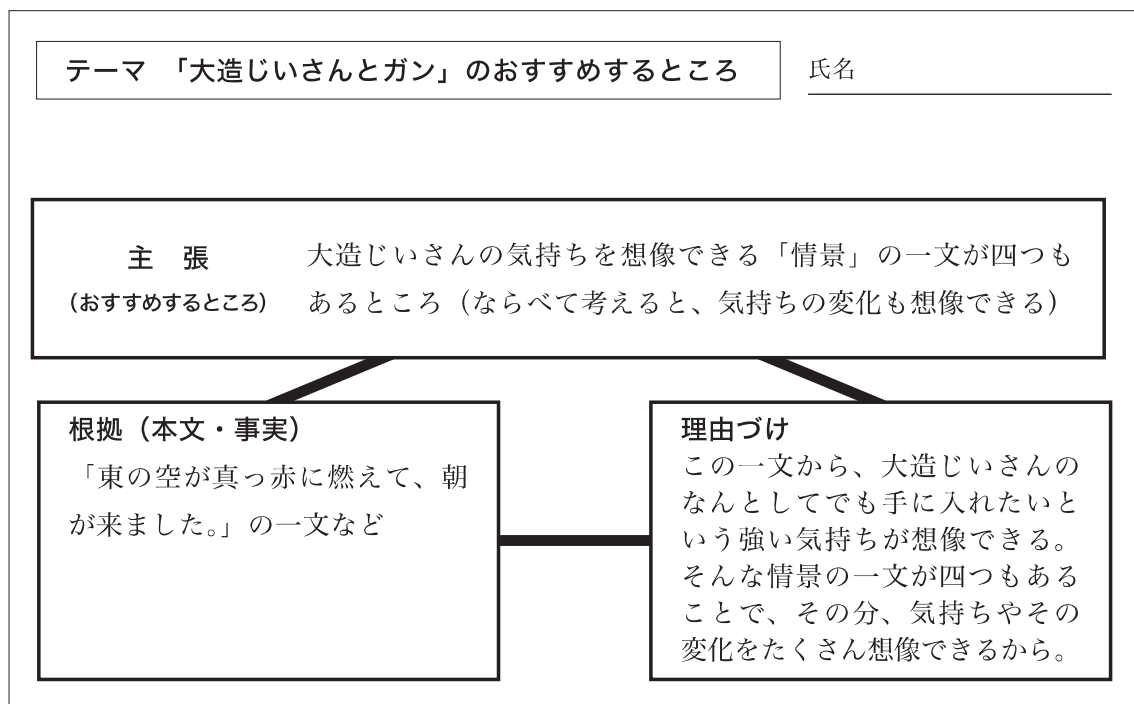


どうしてそのように考えたのか、理由を知りたいです。



それでは、下の図に、理由も付けて自分の考えを書いてみましょう。

図



本文から選んだ部分だけでなく、理由も考えて主張することで、自分の考えがよりはっきりするだけでなく、自分の意見に自信ももてました。

ポイント

本文の叙述を「根拠」に、自分の意見が成り立つ「理由」を考え、「主張」させることを通して、自分の考えを明確に形成させる。

4 グループや学級全体でICTを活用するなどして共有し、異なる立場から「質問」をしてもらい、それに答えることで自分の考えをより確かなものにさせる。

学習活動 自分の考えをまとめた図を共有し、質問に答えることで、自分の考えを確かなものにする。



自分が考えたおすすめするところを、友達はどうのように考えているのかな。友達の意見も聞いてみたいです。



それでは、先ほどの図に、「質問」の欄をつけたものを共有してみましょう。友達からの質問にも答えてみましょう。

テーマ 「大造じいさんとガン」 のおすすめするところ		氏名 _____	
質問 情景のよさは何か。	回答 直接書かれていない気持ちをいろいろ想像できる点。	質問 四つあることがなぜ、おすすめなのか。	回答 これまで読んだ物語に四つもなかったから。
主 張 (おすすめするところ) 大造じいさんの気持ちを想像できる「情景」の一文が四つもあるところ (ならべて考えると、気持ちの変化も想像できる) 理由づけ この一文から、大造じいさんのなんとしてでも手に入れたいたいという強い気持ちが想像できる。そんな情景の一文が四つもあることで、その分、気持ちやその変化をたくさん想像できるから。			
根拠 (本文・事実) 「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」の一文など			
質問 どの部分から強い気持ちと判断したのか。	回答 「真っ赤」「燃えて」の部分。	質問 椋鳩十さんの他の作品にも情景はあるか。	回答 分からない。図書室で探して調べてみる。



友達の質問に答えることで、今まで考えなかったことにも気付くことができておもしろいです。私は、これまで椋鳩十さんの他の作品を読んだことがなかったので、改めて読んでみたくなりました。

他の作品と比べることで、「大造じいさんとガン」のおすすめするところがさらにはっきりしてくると思います。



次はどのように工夫したら、より相手に伝わるかを考えましょう。

私は、「真っ赤」や「燃えて」などの意味を詳しく調べて、それを生かした音読を取り入れてみようと思います。



情景は、ドラマや映画などで流れるBGMと同じような効果だと思います。だから、ICT端末を使って、BGMを効果的に取り入れた動画を撮影したいと思います。

～話し合いは続く～

ポイント

自分の考えを共有し、友達からのいろいろな質問に答えることで、自分の考えを確かなものにさせる。